



# 浅江小だより

令和3年度 臨時号  
光市光ケ丘2番10号  
TEL (0833)72-0039

～あかるく さわやかに えがおで そしてたのしく～

特集号

<http://blog.canpan.info/asae-e/>

光市立浅江小学校 校長 和田 明俊

## 令和3年度 学校評価（後期）アンケートのまとめ

保護者の皆様には、後期学校評価アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。この結果を、来年度の学校運営に生かして参りたいと思います。

### 【アンケートの回答方法について】

今年度よりスマートフォン等から直接回答できる方法を採用しました。簡単に入力でき、速く集計できるよさはありませんでしたが、回答が60%程度にとどまるなど課題も見られました。来年度は回答時期や期間等改善して実施したいと思います。今後ともご協力のほどよろしくお願いいたします。

### 【学校評価（後期）アンケート集計結果】

		肯定的評価の割合		※評価5と4を肯定的評価としています。				5 とても思う			
								4 そう思う			
								3 あまり思わない			
								2 ほとんど思わない			
								1 分からない			
<b>アンケート設問</b>											
番号		保護者対象	前期肯定的評価%	後期肯定的評価%	児童対象	前期肯定的評価%	後期肯定的評価%	教職員対象	前期肯定的評価%	後期肯定的評価%	
1	地域な・家庭・学校	コミュニティ・スクールの取組や、PTA活動等を通して、地域・家庭と一体となった教育活動を展開している。	89	89	地域の方と一しょに行う活動がたくさんある。	83	86	コミュニティ・スクールの取組や、PTA活動等を通して、地域・家庭と一体となった教育活動を展開している。	100	100	
2	家庭・学校	あさなえネットの取組（地域の方と一緒に活動等）に喜んで参加している。	78	82				あさなえネットの取組（地域の方と一緒に活動等）に喜んで参加している。	97	100	
3	学校の推進	学校の教育方針や活動方針等を踏まえ、学校・家庭・地域の連携・協働による取組に積極的に関わっている。	67	71	地域の方と一しょに活動することは楽しい。	86	86	学校の教育方針や活動方針等を踏まえ、学校・家庭・地域の連携・協働による取組に積極的に関わっている。	93	97	
4	中学校との連携強化	中学校と連携しながら、さまざまな教育活動を通して、「15歳の浅江っ子像」の育成に努めている。	79	82	中学校と一しょに行う活動がある。	54	57	中学校と連携しながら、様々な教育活動を通して、「15歳の浅江っ子像」の育成に努めている。	100	97	
5		中学生と一緒に活動や、中学生（上級生）になることを楽しみにしている。	66	72				中学生と一緒に活動や、中学生（上級生）になることを楽しみにしている。	92	94	
6		中学校との連携を重視した系統的な教育活動を実践している。	32	37	中学生と一しょの活動や、中学生（上級生）になることを楽しみにしている。	80	79	中学校との連携を重視した系統的な教育活動を実践している。	94	91	
7	具体的な項目	① 学校は、学校だよりや学年通信、HPや連絡メール等で子どもの様子や教育活動の情報を発信していると思う。	95	93	学校だよりや学年だよりをよく見ている。	75	71	学校だよりや学年通信、HPや連絡メール等で子どもの様子や教育活動の情報を発信している。	51	94	
8		② 学校は、わかりやすい授業づくりに努めていると思う。	84	82	授業はわかりやすい。	93	92	わかる授業づくりに努めている。	95	91	
9		③ 学校は、一人ひとりの子どもを大切にしたい教育相談に取り組んでいると思う。	89	84	先生に相談しやすい。	73	73	一人ひとりの子どもを大切にしたい教育相談に取り組んでいる。	94	89	
10		④ 保護者（自分）は、いじめがおきないよう、子どもと話をしている。	94	94	あなたやまわりの人は、いじめを受けていない。	72	74	いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	97	95	
11		⑤ 保護者（自分）は、子どもの安心・安全に配慮している。	63	96	安全に気をつけてすごしている。	93	90	子どもの安心・安全に配慮し、環境整備に取り組んでいる。	100	97	
12		⑥ 子どもは、授業中に先生の話や友達の発表をよく聞いていると思う。	75	80	授業中に先生の話や友達の発表をよく聞いている。	89	90	授業中に集中して話を聞ける環境を作ったり、指導方法を工夫したりしている。	92	91	
13		⑦ 子どもは、よく読書をしていると思う。	52	52	図書室や学級文庫の本をよく読んでいる。	75	68	計画的に読書指導をしている。	85	82	
14		⑧ 子どもは、学校に行くことを楽しみにしていると思う。	86	88	学校は楽しい。	90	91	楽しい学校・学級づくりに取り組んでいる。	94	94	
15		⑨ 子どもは、家庭学習の習慣が身についていると思う。	74	75	家での勉強に喜んで取り組んでいる。	82	80	家庭での学習習慣の定着に向けて、指導している。	87	82	
16		⑩ 子どもは、よくあいさつをすと思う。	70	72	進んであいさつをしている。	77	79	あいさつ日本一に取り組んでいる。	100	94	
17		⑪ 子どもは、社会のルールやマナーを守って生活していると思う。	94	94	きまりやマナーを守っている。	90	90	社会のルールやマナーを守るよう指導している。	99	94	
18		⑫ 子どもは、体を動かして遊んだり、運動したりしていると思う。	78	79	体を動かして遊んだり、運動したりしている。	88	85	計画的に体力づくりの指導を行っている。	90	85	

## <学校評価（後期）アンケートの結果について>

- 「地域・家庭・学校が一体となったコミュニティ・スクールの取組の推進」（番号①②③）については、保護者・児童・教職員とも肯定的評価の割合が高い結果でした。しかし、保護者の皆様にとっては、コロナ禍による参観日等の行事やコミュニティ・スクール保護者部会の中止により、自分が取組に関わっているという実感がもてなかったのではないかと思います。今後は保護者の皆様の声をしっかりと反映させ、地域・家庭・学校がより一体となった取組となるよう改善していきます。
- 「中学校との連携強化」（番号④⑤⑥）については、保護者・児童・教職員の評価に差があり、肯定的評価の割合が低い項目が顕著でした。小中一貫「あさなえ学園」としての取組が児童や保護者の皆様にとって分かりづらかったということでしょう。今後はコロナ禍でも実施できる中学校との連携をさらに深め、児童・保護者の皆様に実感できる取組を推進していきます。
- 「教育相談（番号⑨）」「いじめ（番号⑩）」「子どもの安心・安全（番号⑪）」「楽しい学校（番号⑭）」については、アンケートや情報交換等を基に、地域・家庭・学校がさらに連携し、一体となったきめ細かい取組を実践していきます。特に、保護者の皆様の「子どもの安心・安全（番号⑪）」に対する意識が高まっているので、しっかりと情報共有して参りたいと思います。
- 「読書（番号⑬）」「家庭学習（番号⑮）」「挨拶（番号⑯）」「体力づくり（番号⑱）」については、評価結果に差が見られます。地域・家庭・学校とさらに連携しながら取組を工夫改善していきます。また、持ち帰りを含め、タブレット端末の効果的な活用の仕方を今後さらに工夫していきたいと考えます。



## 【保護者の皆様からのご意見・ご要望（主なものを抜粋して表示）】

- ・コロナ禍にも関わらず子どもたちのために行事が行われ、学校や周りの大人の想いは伝わっているようです。従来のやり方とは違って、楽しい思い出がくれたのではないかと思います。
- ・コロナ禍で様々な行事が変更・中止となりましたが、常に一番に子どもたちの安全を守ってくださり、ありがとうございました。先生方のお陰で、安心して子どもを通わせることができています。
- ・手洗いとマスクの徹底はしてほしいです。給食時間はノーマスクでのお喋りが多いようです。
- ・コロナ対応として児童の机にシールドを設置したり、給食の配膳を先生が行ったりしてほしいです。
- ・コロナの感染状況や情報提供等について、もう少し詳細に教えてほしいです。
- ・コロナ禍でいろいろな行事がなくなり保護者が学校に行く機会が減ったために学校での様子がよく分からないのが現状です。
- ・臨時休校になった場合のタブレット端末を活用した双方向授業ができていないと思います。今後のことも考えると早急に環境を整える必要があると思います。
- ・冬の防寒具にタイツ等を追加してほしいです。特に女の子はスカートなので冷えることが心配です。
- ・家庭学習における自主学習（かがやき）について、子どもたちが自分の力で取り組めるように指導の仕方を工夫してほしい。
- ・下校時に帽子を投げ合ったり棒や傘を振り回したりしながら帰る子どもがいて、とても危険だと思います。
- ・学校に対する意見や要望等を気軽に伝えることができる場を工夫してほしいです。



## <保護者の皆様からのご意見・ご要望について>

- 保護者の皆様から貴重なご意見・ご要望をいただき、誠にありがとうございます。コロナ禍における学校運営の在り方については、保護者の皆様からの声をより一層うかがい、不安や期待に応えることができるよう改善していきます。子どもたちの安心・安全を第一に、今まで以上に感染拡大防止に努めた対策を講じていきます。また、メール等による迅速な情報提供を行っていきます。
- タブレット端末の家庭への持ち帰りにおける課題の出し方についてもさらに工夫していきます。子どもたちの学びを進めていく双方向的な学習形態を今後検討し、準備を進めていきます。
- 「防寒着」や「家庭学習の在り方」「安心・安全な登下校」については、今後見直しを図り、さらに丁寧な指導を行っていきます。
- 学校に対する意見や要望等はいつでも承りますので、お気軽にご相談ください。